

「白糠の顔として研修」 中高生きょうからNZへ【白糠】

【白糠】11～17日にニュージーランドで行われる「白糠町青少年海外研修事業」を前に2日、町役場で出発式が開かれ、参加する町内の中高生8人が棚野孝夫町長らに出発を報告した。

同事業は、町内の中高生に国外の歴史や文化、生活などを肌で感じてもらい、グローバル化が進む社会における地域リーダーに育ててもらうことを目的に、今回初めて実施される。当初は2019年に実施予定だったが、コロナ禍のため中止となっていた。

この日は、研修参加者を代表して、茶路中2年の工藤光稀さんが「町民の皆さんなど多くの方々の協力があって参加できることに感謝し、白糠町の顔として、責任を忘れず研修に行ってきます」と誓った。

棚野町長は「海外の異文化に触れて、楽しい1週間の研修にしてください」と激励した。（森崎博史）

研修参加者は次の通り（敬称略）。

佐藤未来（白糠高校1年）羽賀紘花（同）大内苺（白糠学園8年）廣橋温真（同）渡邊心暖（同）高橋心愛（庶路学園8年）鶴岡久玲愛（同）工藤光稀（茶路中2年）



[写真／海外研修事業に参加する生徒ら（白糠町役場提供）]